

大学は自分だけの探究に出会う場所

大学の学びに、決められたゴールはありません。明治大学で出会った「自分だけの問い」に全力で向き合い、
一歩ずつ理想の未来へとステップアップを続ける2人の明大生にお話を聞きました。

今後は大学院に進学し、
今以上に建築に
のめり込む予定です！



明治大学の理工学部建築学科に進学した理由は、実践的な学習ができると聞いたからです。1年次は座学がほとんどという大学もありましたが、明治大学では、1年次から実際に手を動かして作品をつくる建築設計や造形演習などの授業があるんです。早い段階からインプットだけでなくアウトプットもしたいと思っていたので、そこに惹かれました。また、建築史や構造、環境設備など、さまざまな分野の授業を自由に選択できるのも魅力でした。本当にやりたいことを見つけるために、まずは幅広く学びたいと考えていたためです。

大学に入って、高校生の頃より勉強が楽しくなったと思います。明治大学では、自分の興味を徹底的に探究できます。幅広い学問分野を柔軟に学べるカリキュラムのおかげです。研究室では、仲間と切磋琢磨する環境で日々刺激されますし、日常でも学びや発見があります。友人とカフェに入り、「この椅子は誰がデザイン・設計したのかな」なんて話すこともよくあります(笑)。

現在取り組んでいる分野について教えてください。地域環境を生かした建築を考える「地域デザイン」に取り組んでいます。興味を持ったのは、ある先生の「建築は部分ではなく、全体である」というひとこと。それまで、建築は建物設計することだと思っていたのですが、そこに住まう人々の暮らしや地域そのものまで設計することなのだといつかれました。より良い建築空間を作るために、デザイン面だけではなく、空気の流れや採光、エネルギー効率に着目したりと、考えることが多い分、やりがいも

感じています。大学での学びを活かし、学外のコンテストにも参加させていますね。学内の活動で、常に自分の作品が評価の対象となるなかで、だんだん学外でも自分の力を試してみたいと思うようになりました。そこで大学3年次の夏に「建築新人戦2021」に参加しました。締め切りまでの1か月間は作業に明け暮れる日々でしたが、そのかいあって、100選に選んでいただくことができました。

人々の暮らしや 地域社会も設計 学外コンテストで腕試しも

理工学部
建築学科4年生 **館 衿花さん**
昭和女子大学附属昭和高等学校卒業



アルバイトでも建築に関わっているとか。建築学科の先輩の紹介で、株式会社竹中工務店さんでアルバイトをさせていただいています。施工が完了した建築に連れて行ってもらったり、自分の作品に対して相談をさせてもらったりと、建築をよりリアルに感じられるようになりました。

受験生の皆さんにメッセージをお願いします。建築学科の先輩の紹介で、株式会社竹中工務店さんでアルバイトをさせていただいています。施工が完了した建築に連れて行ってもらったり、自分の作品に対して相談をさせてもらったりと、建築をよりリアルに感じられるようになりました。

驚いたのは「真面目に考えられた建築」と評価されたこと。学内ではよく「個性的な建築」という評価を受けていたのですが、コンテストには私以上に個性的な作品を作る人が多かったんです。普段とは異なる評価を受けたことで、自分の作品を省みる良い機会になりました。

いま私は、明治大学で出会った学びに貪欲な仲間たちと切磋琢磨しながら、自分ならではの建築を追いかけています。明治大学は、そうした挑戦を後押しする風土があり、制度も整っていて、理想の環境でした。

商品企画を学びたいという思いから、商学部に進学。中学生のときに、とある企業の商品開発部に密着したテレビ番組を見て、自分の手で世の中に新たな商品を生み出すことに魅力を感じたのがきっかけです。ダブル・コアとは、商学の分野と、それ以外の学問分野からそれぞれ一つずつゼミを選択できる制度です。商学の分野では、商品開発の仕事にも生かせるかもしれないと、実際に企業のマーケティング活動に携われる菊池一夫ゼミナールの所属を決めました。

2つのゼミに全力投球 フィールドワークで 学びを深める

商学部4年生 **石原 圭さん**
広島県立広島高等学校卒業



20歳34歳の女性に向けたプロモーションの方法を考えることに。しかし、20歳34歳の女性が持つニーズを決めていたことと知識不足から、ありきたりな案しか思い浮かばず、マーケティングの難しさを痛感しました。

その反省を生かし、大手百貨店のマーケティングでは、ターゲットである学生の大規模な調査を行い、顧客のニーズを徹底的に分析。地域の役所や観光施設へのインタビューも行いました。分析結果をもとに新規事業を提案し、高い評価をいただくことができました。

ゼミを両立することで、大手百貨店のマーケティングをはじめ、菊池ゼミでの調査では、フィールドワークをよく行うようにしていました。これは二つめのゼミ、エスノグラフィという手法で社会学の研究を行う藤田結子ゼミナールへの所属が大きく影響しています。

ダブル・コアでの学びについて教えてください。商品企画を学びたいという思いから、商学部に進学。中学生のときに、とある企業の商品開発部に密着したテレビ番組を見て、自分の手で世の中に新たな商品を生み出すことに魅力を感じたのがきっかけです。ダブル・コアとは、商学の分野と、それ以外の学問分野からそれぞれ一つずつゼミを選択できる制度です。商学の分野では、商品開発の仕事にも生かせるかもしれないと、実際に企業のマーケティング活動に携われる菊池一夫ゼミナールの所属を決めました。



エスノグラフィとは、調査対象となるコミュニティに、調査者自身が入り込み、観察やインタビューなどを行う研究方法です。菊池ゼミで、生きた顧客の声を知れたのは、藤田ゼミでのフィールドワークの経験があったからこそです。また、菊池ゼミで企業相手に鍛えられたプレゼン方法が、藤田ゼミで役立つことも、それぞれのゼミで学んだことが、お互いに補完し合っているように感じています。

また、明治大学にはゼミ以外にもグループワークがある授業など、少人数で学ぶ機会が多く、さまざまな価値観を持った人との交流で刺激をもらえました。地元とは異なるコミュニティに入ることで、視野が大きく広がったと感じています。

明治大学に入ってから、ダブル・コア制度をはじめ、学生生活の幅が広がったことです。私は二つのゼミの他に、サークルやアルバイトにも全力で打ち込みました。広島から上京をしたのは、挑戦の機会が多い環境で、大学生として思っていたからでした。

アルバイトでも
マーケティングの知識を
活用しています！



受験生の皆さんにアドバイスをお願いします。志望校選びで大切なのは、きちんと自分で決断すること。私も、自分の意思で進学先やゼミのテーマを決めたからこそ、キャパオーバーなどがあっても頑張りが続くことができました。「正しい道を選ぶんじゃない、選んだ道を正解にする」。先輩からもらった大切なアドバイスです。

また、明治大学にはゼミ以外にもグループワークがある授業など、少人数で学ぶ機会が多く、さまざまな価値観を持った人との交流で刺激をもらえました。地元とは異なるコミュニティに入ることで、視野が大きく広がったと感じています。

また、明治大学にはゼミ以外にもグループワークがある授業など、少人数で学ぶ機会が多く、さまざまな価値観を持った人との交流で刺激をもらえました。地元とは異なるコミュニティに入ることで、視野が大きく広がったと感じています。

また、明治大学にはゼミ以外にもグループワークがある授業など、少人数で学ぶ機会が多く、さまざまな価値観を持った人との交流で刺激をもらえました。地元とは異なるコミュニティに入ることで、視野が大きく広がったと感じています。

2023年1月6日 一般選抜Web出願受付スタート！

※ 詳細等は、一般選抜要項(明治大学ホームページにて11月上旬公開予定)を必ずご確認ください。



- 法学部
- 文学部
- 経営学部
- 国際日本学部
- 商学部
- 理工学部
- 情報コミュニケーション学部
- 総合数理学部
- 政治経済学部
- 農学部

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL.03-3296-4545(代) <https://www.meiji.ac.jp/>

明治大学の各学部の詳細はこちら

学部の特徴がスマホで簡潔にわかる

「Step into Meiji University」

- 文理10学部をイラスト・コンセプトムービーで紹介
- 明大生の体験記・教授陣の研究紹介サイトの記事も掲載

